

異色の医師

渡邊 剛 総長

手術支援ロボット「ダウインチ」で心臓手術ができる日本で唯一の心臓外科医である。名門・金沢大学病院第1外科の教授の座を捨て、この5月、東京・杉並に43床を有する病院を建設、新たなスタートを切った。私は今55歳。外科医として残された時間をすべて外科医に費やしたい。会議や学会など余計なことに煩わされることなく患者と自分のために仕事をしたかったのです。」

ニューハート・ワタナベ国際病院

「わたしは、1958年生まれ、東京出身。金沢大学医学部卒業後、同大学病院第1外科入局。その後、富山医科大学助教授を経て、41歳で金沢大学第1外科教授に就任。14年5月から現職。」

「教授になり臨床にすぐ使える研究がしたくない。」



「はじめは、動物実験...」

東京で勝負に出た心臓のロボット手術の先駆者

手術支援ロボット「ダウインチ」は、従前のバイパス手術では、胸の真ん中を大きく切らなければならないが、ダウインチなら、肋骨を開いて行うので、術後の傷痕は格段に小さく、出血も少ない。しかも、チームワークが...

地元紙に「第1外科ピンチ!」と掲載される

「日本で初めてダウインチを使った心臓手術をしたのが05年。以来、毎回、猫の手も借らさず手術にあたり、結局、初日から1つものメンバーで理想の医療への第一歩を踏み出した。」

「わたしは、1958年生まれ、東京出身。金沢大学医学部卒業後、同大学病院第1外科入局。その後、富山医科大学助教授を経て、41歳で金沢大学第1外科教授に就任。14年5月から現職。」